

アイデアが土地を活かす

**高松建設**

TakaMori

詳しくは 高松建設 検索

☎0120-53-8101

(通者 新川和江)

私の手を包んでくれた  
あなたの手  
私の手が  
おぼえている  
あなたの  
冷たい手の温かき

東京都杉並区  
松崎 義行 50

手  
朝の詩

# 産経新聞

平成27年(2015)日刊25924号

2|21[土]

産経新聞(サンケイ)  
THE SANKEI SHIMBUN  
発行所: 産経新聞東京本社15  
〒100-8077東京都千代田区大手町1-7-2  
電話: (03) 3231-7111 (大代表)

購読の  
配達・郵  
紙面・新  
産経二

## BANTOU 番頭の時代

第2部 「飛躍」を生み出す

# 「鉄ちゃん」地域に仕え

鳥塚亮社長

「結果がダメならお払い箱」  
(鳥塚の福われ社長は、自  
ら番頭として収支改善に向け  
たアイデアを立案する傍ら、  
取引先との調整や金策に乗り  
出した。

前任の公葬社長は10カ月で  
辞任しており、鳥塚に残され  
た時間はわずか1年足らず。

山を縫うように、黄色いディ  
ーゼルのワンマンカーが時速  
40〜50km/hのんびりと動き出  
した。車体や前方のヘッドマ  
スクリーン、窓ガラスに、テレビア  
ンテナ「ムーミン」のキャラク  
ターをあしらったムーミン列  
車だ。

掛かったお金は、契約金を  
入れて数百万円。「ただシー  
ルを張っただけじゃないか」  
と鉄道会社の友人は皮肉った  
が、通学で毎日乗車する女子  
高生らの話題となり、女性向  
け情報誌やテレビの取材も相  
次いだ。

「ここには、お金がたくさ  
ん落ちている」  
鳥塚は着任時の印象をこう  
振り返る。古ぼけたディーゼ  
ル車は全面的にも貴重な鉄道

「赤字1億円の会社で70  
0万円もらえるのがおかしい  
でしょう。民間の常識からず  
れている」  
平成21年5月、万年赤字  
で廃線の瀬戸際だった第三セ  
クター「いすみ鉄道」の公葬社  
長を決める面接で、当時48歳  
の鳥塚亮(54)は言い放った。  
面接官は千葉県副知事や  
沿線自治体の首長ら。「恐ろ  
しく年収が下がると思うよ。い  
くらもらってるか知らないけ  
ど、いいのかわ？」と尋ねた一  
人は、怒りで顔をこぼらせた。  
それを見た鳥塚は「こり  
やダメだ。落ちたな」と思っ  
た。採用を拒む電話があった  
のは、その数日後だ。  
成田空港で外資系航空会社  
の日本支社に勤務していた当  
時、鳥塚の年収は約1100

其の三▶▶▶ いすみ鉄道



3面に続く

# BANTOU 番頭の時代

## 「何も無い」逆境を資源に

### 1面から続く

いすみ鉄道のムーミン列車に注目が集まり始めた平成22年。社長の鳥塚亮は、駅の構内で利用客が怒鳴っているのを目撃した。

「せっかく来たのに、何も無いじゃないか」。何をいすみ鉄道の多くは無人駅で、周囲には民家もまばらだ。ポランテアで観光客の応対をしていた地元住民は「すみません」と頭を下げるしかない。

廃線間際の鉄道を救うには、地元の利用客だけでは足りない。観光客の拡大は

不可欠だ。しかし、豊かな自然や情緒ある鉄道施設の魅力を理解しない人に、地元住民が謝らなければならないのは理不尽だ。

苦々しい思いを抱いた鳥塚は、日本にムーミン谷があれば、こうだろうと思わせる田園地帯をワンマン列車が走る風景写真に、こんなコピーを入れたポスターを発売した。

「ここには『何も無い』があります。」

「何も無い」との苦情にはポスターを指さして一言、「すみませんね」とほほ笑めば済む。4月から5月の

大型連休には通常の10〜15倍の客で駅や列車があふれかえった。いすみ鉄道の存続が正式に決まったのはその年の8月だった。

### ファンをつかむ

22年12月12日、デンタルサポート大多喜駅構内に1100人を超える鉄道ファンが詰めかけた。現役の国鉄型ディーゼルカーでは最も古いタイプのひとつ「キハ52形」のお披露目を兼ねた撮影会だ。熱心な鉄道マニアでもある鳥塚が「一つでいいからせいたくをさせてほしい」と無理を通して

導入した。存続の切り札は、大糸線(長野県・新潟県)を走っていたが、まもなく廃車になるとの噂を聞き、昭和40年製造の同車同

いた鳥塚は、JＲ西日本と売却交渉を始めた。新車なら1両1億3千万円だが、廃車寸前の老朽車両はわずか200万円。移送費や補修整備費を加えても3千万円でおつりが来た。

撮影会にはJＲ西の廃車を借しんだ全国の鉄道ファンが集まった。彼らが撮影した写真はネットに広がり、自前のオート三輪やボンネットバスと並べて写真を撮りたい、というリクエストも鳥塚の元に集まり始めた。時計塔のあるレトロなデザインと鳥塚は、いすみ鉄道の業績は目に見えて改善つとになっていた。

「どれもたいしたアイデアアじゃない。他業界では当たり前」と鳥塚は、こともなげにいう。だが、いすみ鉄道の業績は目に見えて改善つとになっていた。

### 「思いつき」見極め即座に実行

成長のための良い「思いつき」という経営スタイルが必要はたくさんあるが、リスクを恐れてアレキばかり踏んでしまう。硬直化してしまった企業で、よくある光景だ。企業を成長に導くためには、思いつきを実行する鳥塚氏の姿を「BANTOU」は見習いた

き「勝ち目を見極め、即座に実行し、善しあしを確証す」(ビスタロー代表 杉村知哉)

### 番頭の敷え

いすみ鉄道の存続のため、鳥塚はその後も次々にアイデアを練り出した。賛否両論の中で踏み切った訓練費700万円を自己負担させる運転士の募集制度や、オリジナルの土産物の開発と売店の設置、列車に乗りながら食事を楽しめる

万人受けは不要。誰も訪れる一般的な観光地ではなく、こだわりのある人たちが何度も訪れる鉄道へ。鳥塚はいう。「ローカル線はファンヒにこそ来たらいい」(敬称略)